

別冊

日本銀行 各支店跡地の主な活用事例について

[参考] 日本銀行 各支店跡地の主な活用事例 5例

- ① 建物を残し跡地を活用 **2例** (京都、松江)
- ② 建物を取壊し跡地を活用 **2例** (大分、那覇)
- ③ 活用方法を検討中 **1例** (釧路)

[参考] 主な日本銀行各支店跡地の立地条件等の比較

	金沢支店	①建物を残し跡地を活用		②建物を取り壊し跡地を活用		③活用方法を検討中	
		旧京都支店	旧松江支店	旧大分支店	旧那覇支店	旧釧路支店	
所在地	金沢市香林坊2-3-28	京都市中京区三条通高倉西入菱屋町48番地	松江市殿町43	大分市府内町1丁目1-1	那覇市松山1丁目2番1号	釧路市大川町2-26	
竣工	昭和29年（1954年）	明治39年（1906年）	昭和13年（1938年）		昭和47年（1972年）	昭和27年（1952年）	
設計	（株）山下設計	辰野金吾、長野宇平治	長野宇平治			西村好時	
構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下1階付地上3階建、陸屋根	煉瓦造、2階建、一部地下1階、スレート葺、両翼塔屋付、袖塀附属	鉄筋コンクリート造3階地下1階建、塔屋、煙突及び塀付			鉄筋コンクリート造り地下1階、地上2階建	
敷地面積	約4,700㎡	約2,200㎡	約2,900㎡		約4,300㎡	約2,700㎡	
延床面積	約4,800㎡	約1,800㎡	約2,200㎡		約3,700㎡		
駅からの距離	JR金沢駅から2.0km（徒歩26分）	地下鉄烏丸御池駅から290m（徒歩4分）	JR松江駅から1.4km（徒歩19分）	JR大分駅から280m（徒歩4分）	ゆいレール県庁前駅から400m（徒歩6分）	JR釧路駅から1.3km（徒歩17分）	
中心市街地活性化基本計画	中心市街地計画区域内	計画なし	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内	
都市計画マスタープラン	中心商業・業務地区	広域的な商業・業務が中心となる地域	商業・業務地区	商業・業務地区	業務地域	沿道商業業務地区	
都市計画規制等	用途地域	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：400% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：300～500% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：400% 建蔽率：80%
	防火・準防火地域	防火地域	準防火地域	準防火地域	準防火地域	防火地域	準防火地域
	高度地区	45m高度地区	15m 第4種高度地区				
跡地の用途		京都文化博物館別館（1988年）	カラコロ工房(2000年)	祝祭の広場（2019年）	沖縄セルラー電話（株）（2012年）	検討中	
跡地の整備主体		京都府	松江市	大分市	沖縄セルラー電話(株)	釧路市	
備考	令和5年の秋頃移転予定	重要文化財	登録有形文化財（建造物）	民間企業が取得した後大分市が取得	特になし	特になし	

金沢支店

平成30(2018)年5月に駅西(広岡3丁目地内)への移転の意向が示され、新支店は令和5(2023)年秋頃に完成予定(現在建設中)。

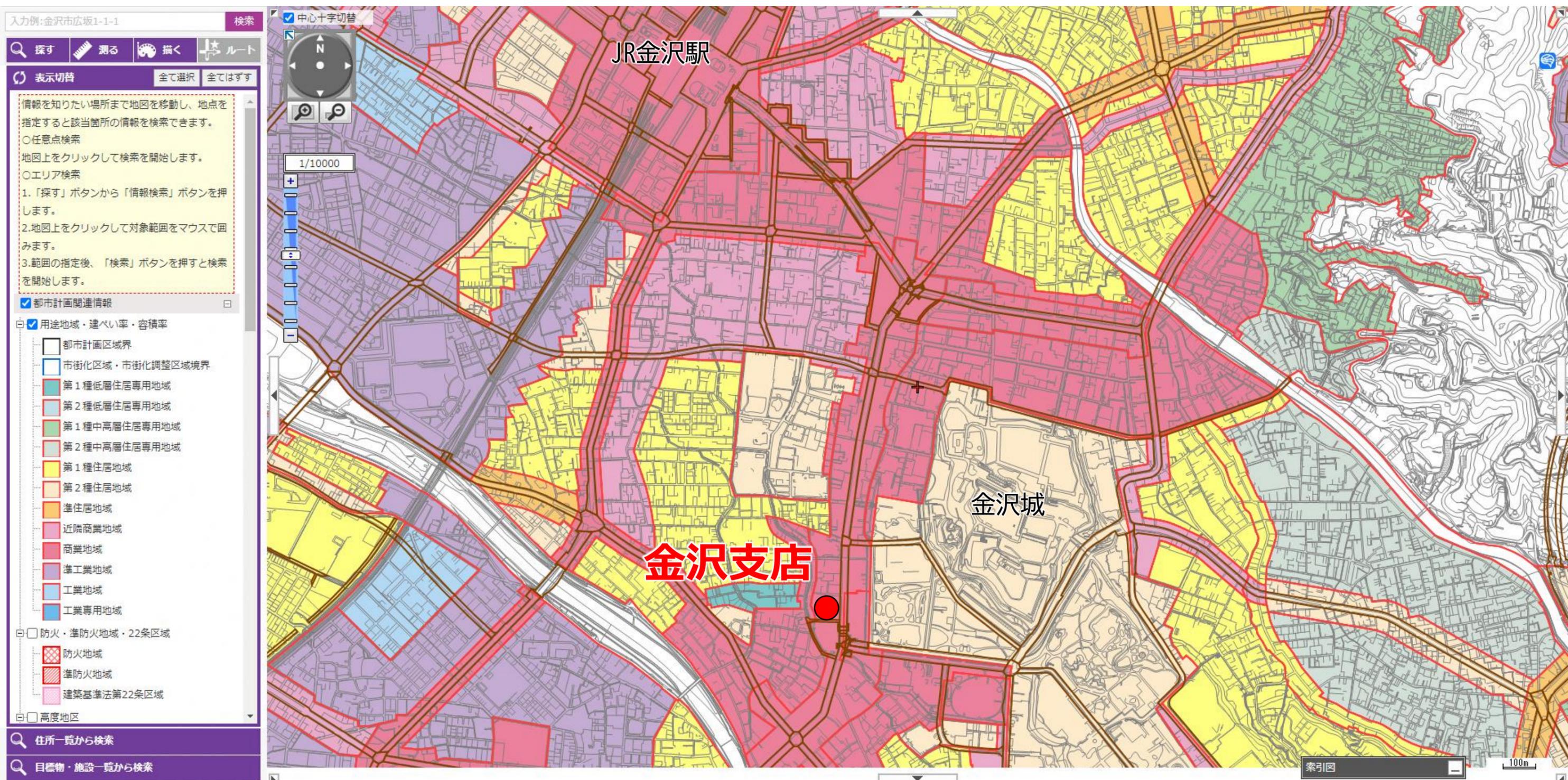


設計	： (株) 山下設計
竣工	： 昭和29年(1954年)
用途	： 博物館
構造・面積	： 鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下1階付地上3階建、陸屋根、約4,800㎡(延床面積)
所在地	： 金沢市香林坊2-3-28
駅からの距離	： JR金沢駅から2.0km(徒歩26分)

金沢支店

金沢支店は、商業地域として金沢市の中心市街地に位置している。

■ 周辺の土地利用図



旧京都支店（現在：京都文化博物館別館）

① 建物を残し跡地を活用

現在の建物は、1906年（117年前）京都支店として竣工。
その後、京都府が改修・復元を行い、1988年（35年前）京都文化博物館別館となり現在に至る。



写真・年表出典：京都博物館HP



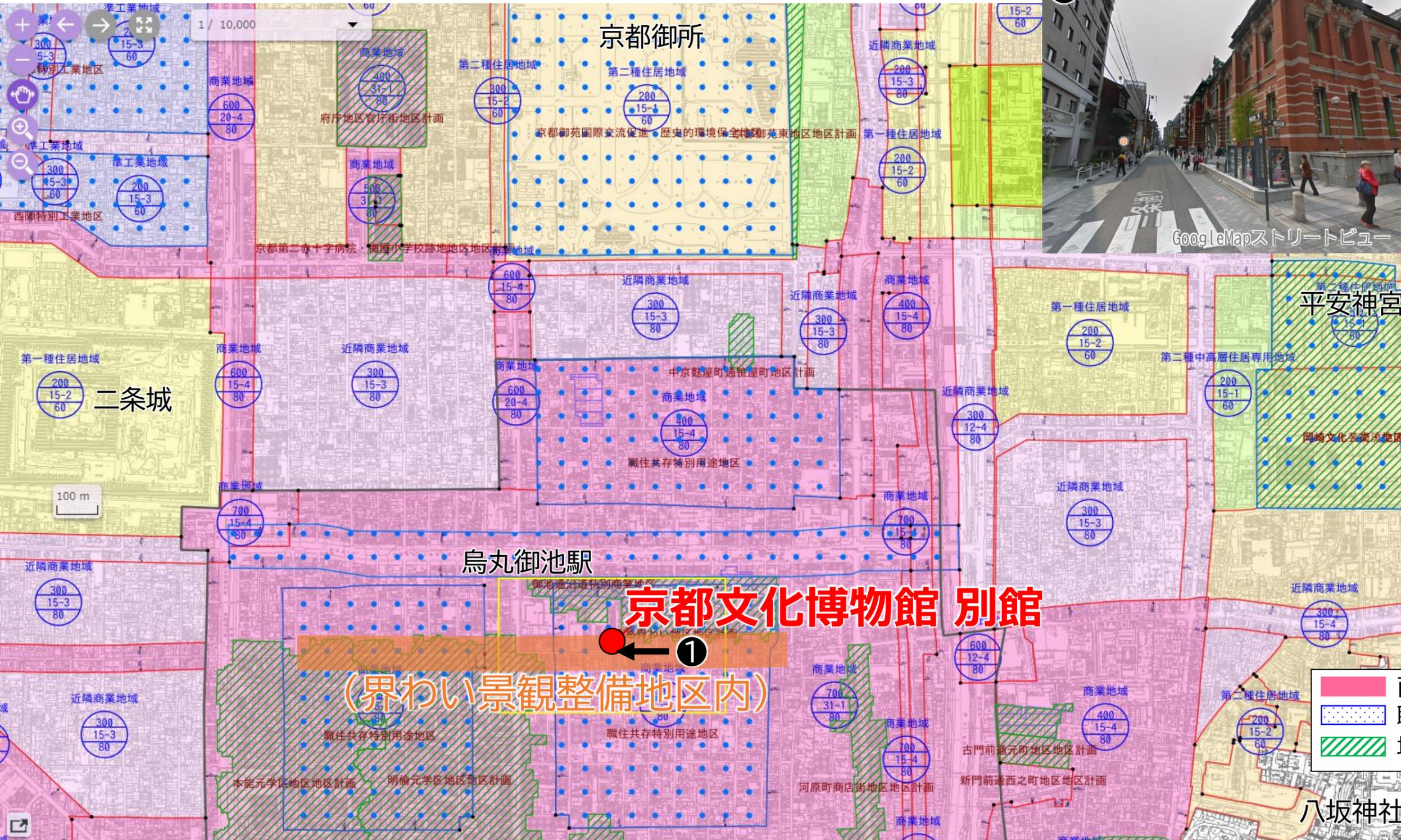
- 設計 : 辰野金吾（日本近代建築の父）＋長野宇平治（辰野金吾の弟子）
- 竣工 : 明治39年（1906年）
- 用途 : 博物館
- 構造・面積 : 煉瓦造、建築面積884.4m²、二階建、一部地下一階、スレート葺、両翼塔屋付、袖塀附属
- 所在地 : 京都府京都市中京区三条通高倉北西角
- 駅からの距離 : 地下鉄烏丸御池駅から290m（徒歩4分）
- 跡地の整備主体 : 京都府

旧京都支店（現在：京都文化博物館別館）

① 建物を残し跡地を活用

現在の建物（京都文化博物館別館）は、商業地域に位置しており、景観整備地区として、沿道景観に寄与している。 ※1966年（57年前）国の重要文化財指定

■ 周辺の土地利用図



都市計画規制情報印刷

項目名	値
区域区分	市街化区域
用途地域	商業地域
建ぺい率	80%(用途地域による)
容積率	400%
高度地区	15m 第4種高度地区
防火・準防火地域	準防火地域
景観保全	重要界わい整備地域(三条) 歴史遺産型美観地区 三条通界 地域景観づくり協議地区(京の
眺望景観	遠景デザイン保全区域(11), 遠
屋外広告物	第3種地域
その他	職住共存特別用途地区 都心部 駐車場整備地区 都市機能誘導区域 居住誘導区域(土砂災害特別警戒 京町家条例に基づく指定地区 既成都市区域
図面番号	59 三条大橋

商業地域
 職住共存特別用途地区
 地区計画

旧松江支店（現在：工芸館「カラコロ工房」）

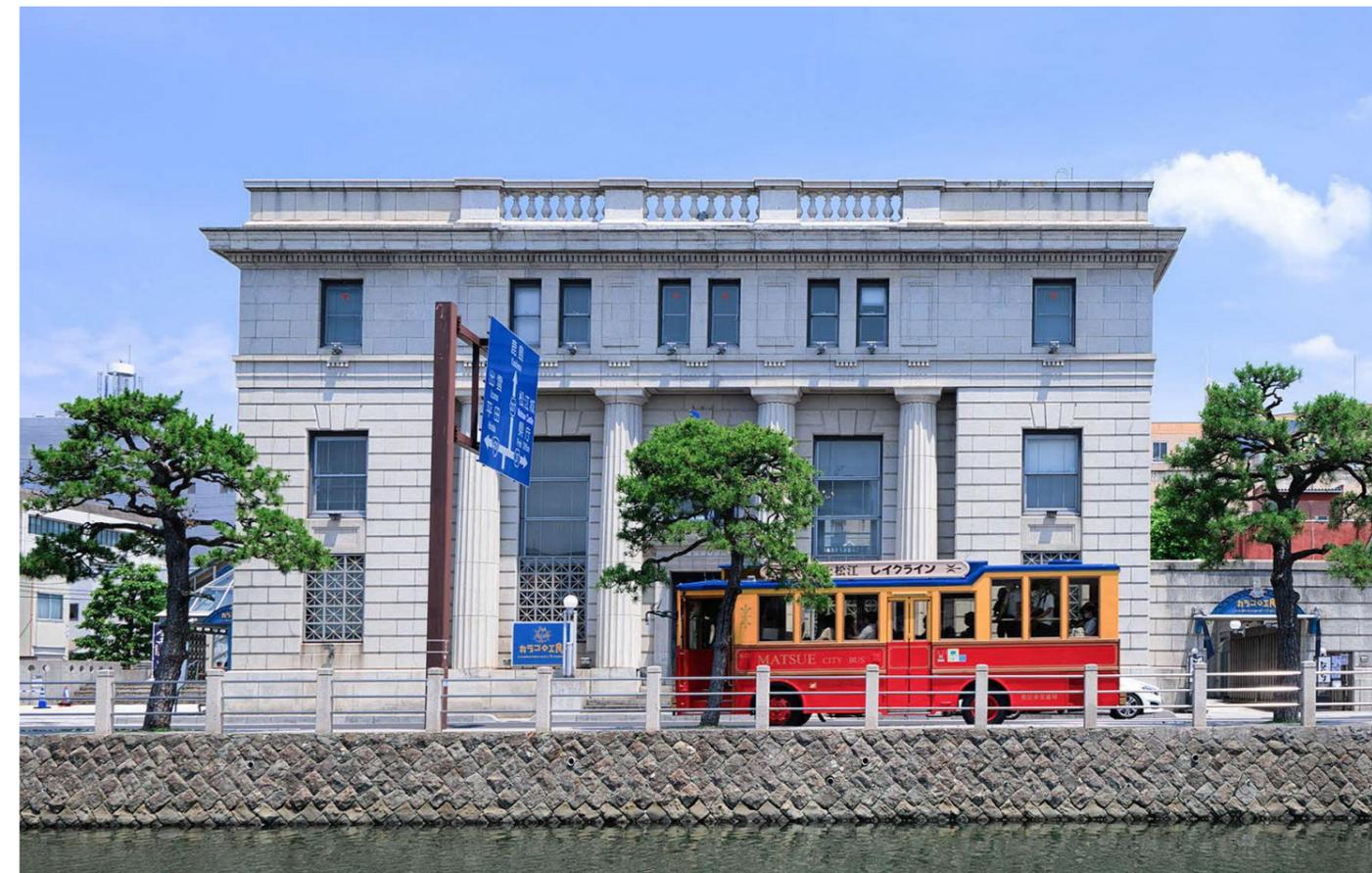
① 建物を残し跡地を活用

現在の建物は、1938年（85年前）に完成。
松江城まで約0.6km、JR松江駅まで約1.2kmに位置している。
1996年（27年前）、松江市が施設を取得し、改修され現在に至る。



出典：GoogleMapストリートビュー

設計	： 長野宇平治（日本近代建築の父・辰野金吾の弟子）
竣工	： 昭和13年（1938年）
構造・面積	： 鉄筋コンクリート造3階地下1階建、建築面積633㎡、塔屋、煙突及び塀付
所在地	： 島根県松江市殿町43
駅からの距離	： JR松江駅から1.4km（徒歩19分）
跡地の整備主体	： 松江市



出典：カラコロ工房HP、文化遺産オンライン

旧松江支店（現在：工芸館「カラコロ工房」）

① 建物を残し跡地を活用

工芸館は、匠をテーマに、銀・ガラス・陶芸・木工等の体験教室や店舗などが整備されカフェやレストランも充実しており、市民や観光客から親しまれる施設となっている。

季節ごとのイベントが充実し、例えば梅雨時には広場の空を彩る「アンブレラスカイ」などが実施されている。



出典：しまね観光ナビHP



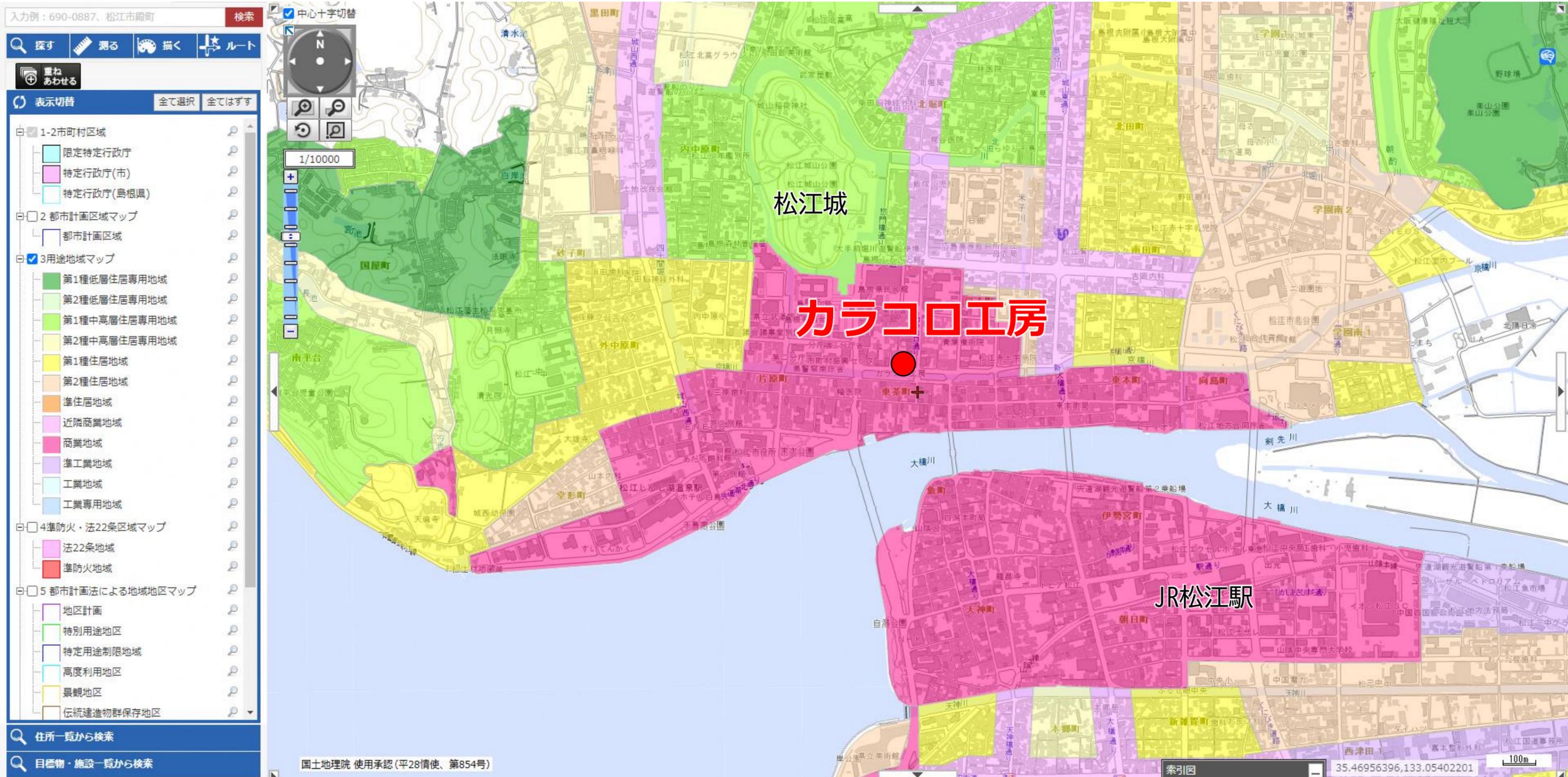
出典：出雲テラスHP

旧松江支店（現在：工芸館「カラコロ工房」）

① 建物を残し跡地を活用

現在の建物（カラコロ工房）は、商業地域として松江市の中心市街地の内、近代建築群を活かした挑戦を生みだすゾーンに位置づけられている。

■ 周辺の土地利用図



旧大分支店（現在：祝祭の広場）

②建物を取壊し跡地を活用

旧日本銀行大分支店は、1970年（53年前）に移転後、民間企業が跡地を取得し、スーパーマーケットが建設され、2011年（12年前）に閉店。

その後、大分市は、ラグビーワールドカップ開催に向け、2017年（6年前）に跡地を取得し、2019年（4年前）、中心市街地の回遊性や滞留性を高める目的で「祝祭の広場」が整備され、現在に至る。



駅からの距離：JR大分駅から280m（徒歩4分）



出典：日本銀行大分支店HP



出典：都市商業研究所HP

旧大分支店（現在：祝祭の広場）

②建物を取壊し跡地を活用



所在地 : 大分市府内町1丁目1-1
駅からの距離 : JR大分駅から280m（徒歩4分）
跡地の整備主体 : 大分市

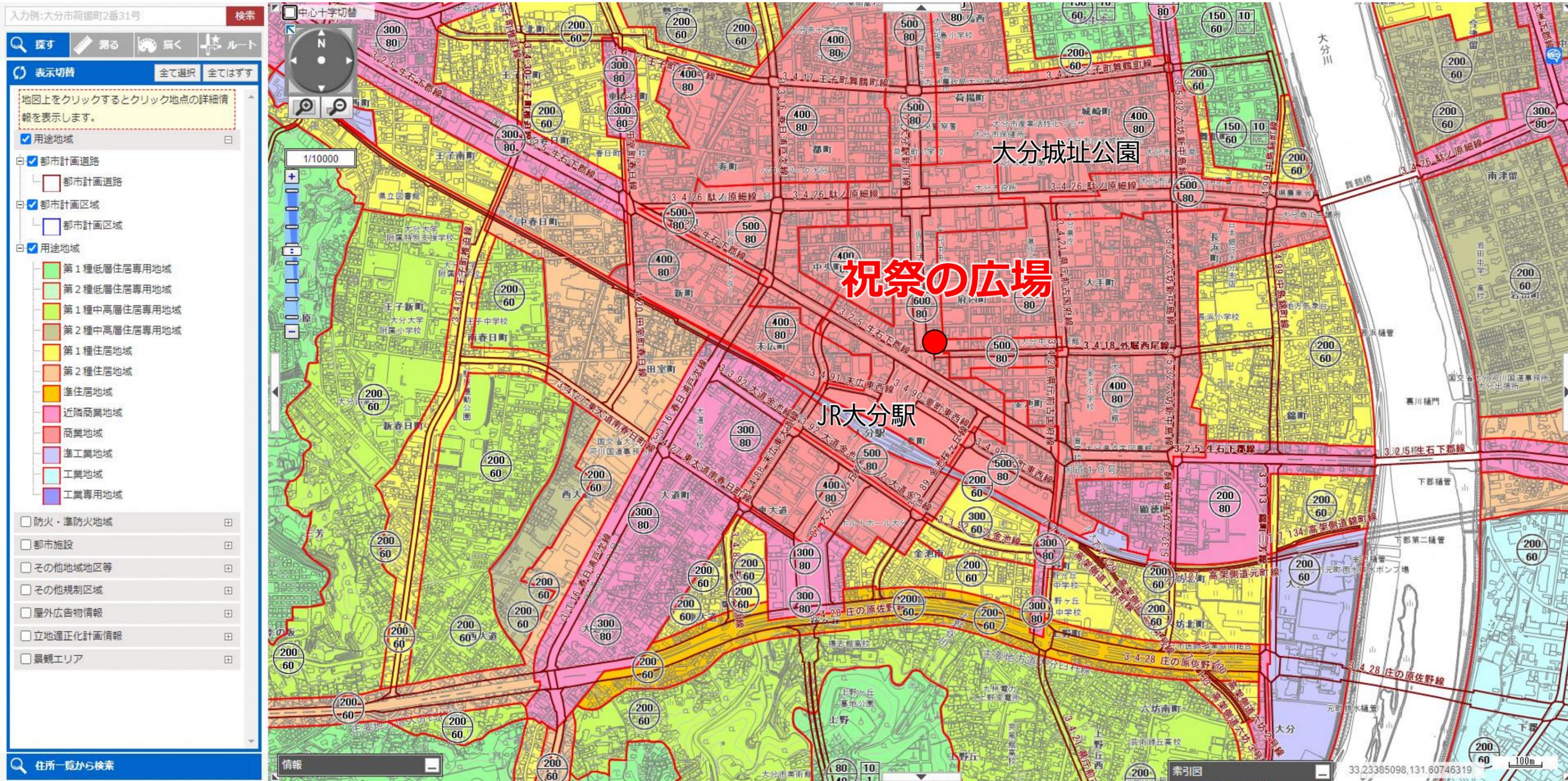
出典：全国まちなか広場研究所HP

旧大分支店（現在：祝祭の広場）

②建物を取壊し跡地を活用

現在の建物（祝祭の広場）は、商業地域として大分市の中心市街地に位置している。

■周辺の土地利用図



旧那覇支店（現在：民間通信事業者の社屋）

② 建物を取壊し跡地を活用

旧那覇支店は、2007年（16年前）に移転後、民間通信事業者が跡地を取得し、2012年（11年前）社屋を建設し、現在に至る。

出典：日本銀行那覇支店HP



所在地：那覇市松山1丁目2番1号

駅からの距離：ゆいレール県庁前駅から400m（徒歩6分）

跡地の整備主体：沖縄セルラー電話(株)

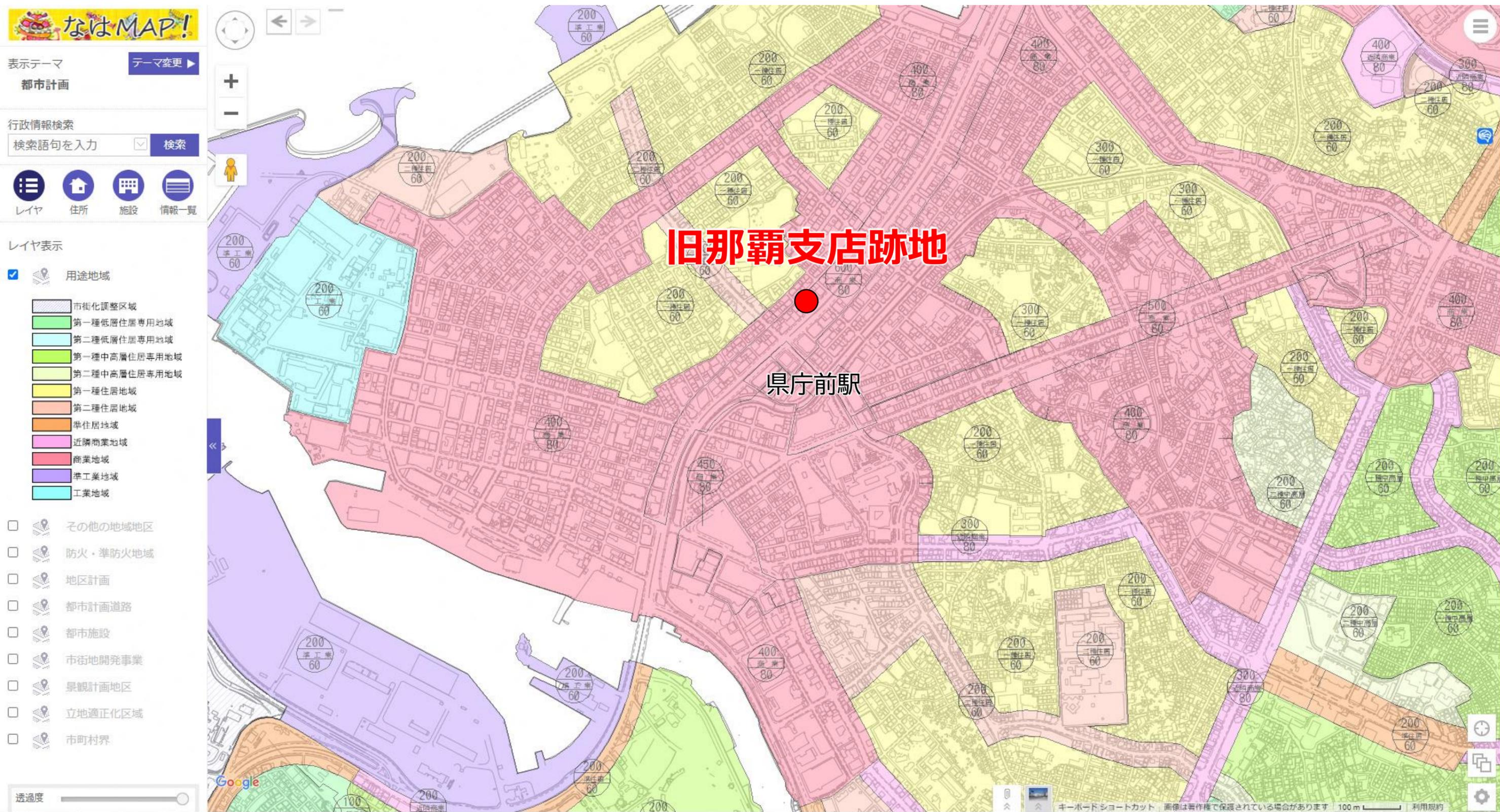
出典：沖縄セルラー電話(株)HP

旧那覇支店（現在：民間通信事業者の社屋）

② 建物を取壊し跡地を活用

現在の建物（民間通信事業者の社屋）は、商業地域として那覇市の中心市街地に位置している。

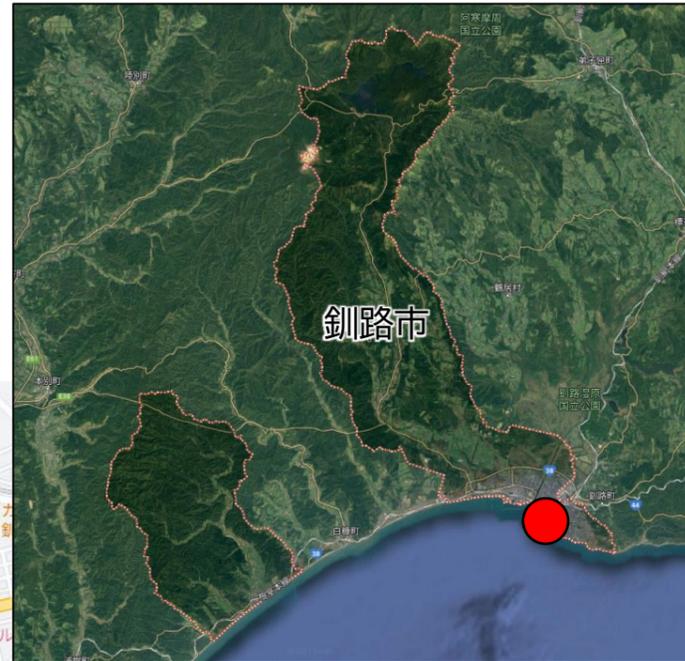
■ 周辺の土地利用図



旧釧路支店

③活用方法を検討中

旧釧路支店は、1952年（71年前）に竣工し、2013年（10年前）移転。
2015年（8年前）釧路市は、土地と建物を取得し、現在、活用方法を検討中である。



所在地 : 釧路市大川町2-26
駅からの距離 : JR釧路駅から1.3km（徒歩17分）
跡地の整備主体 : 釧路市



駅からの距離 : JR釧路駅から1.3km（徒歩17分）

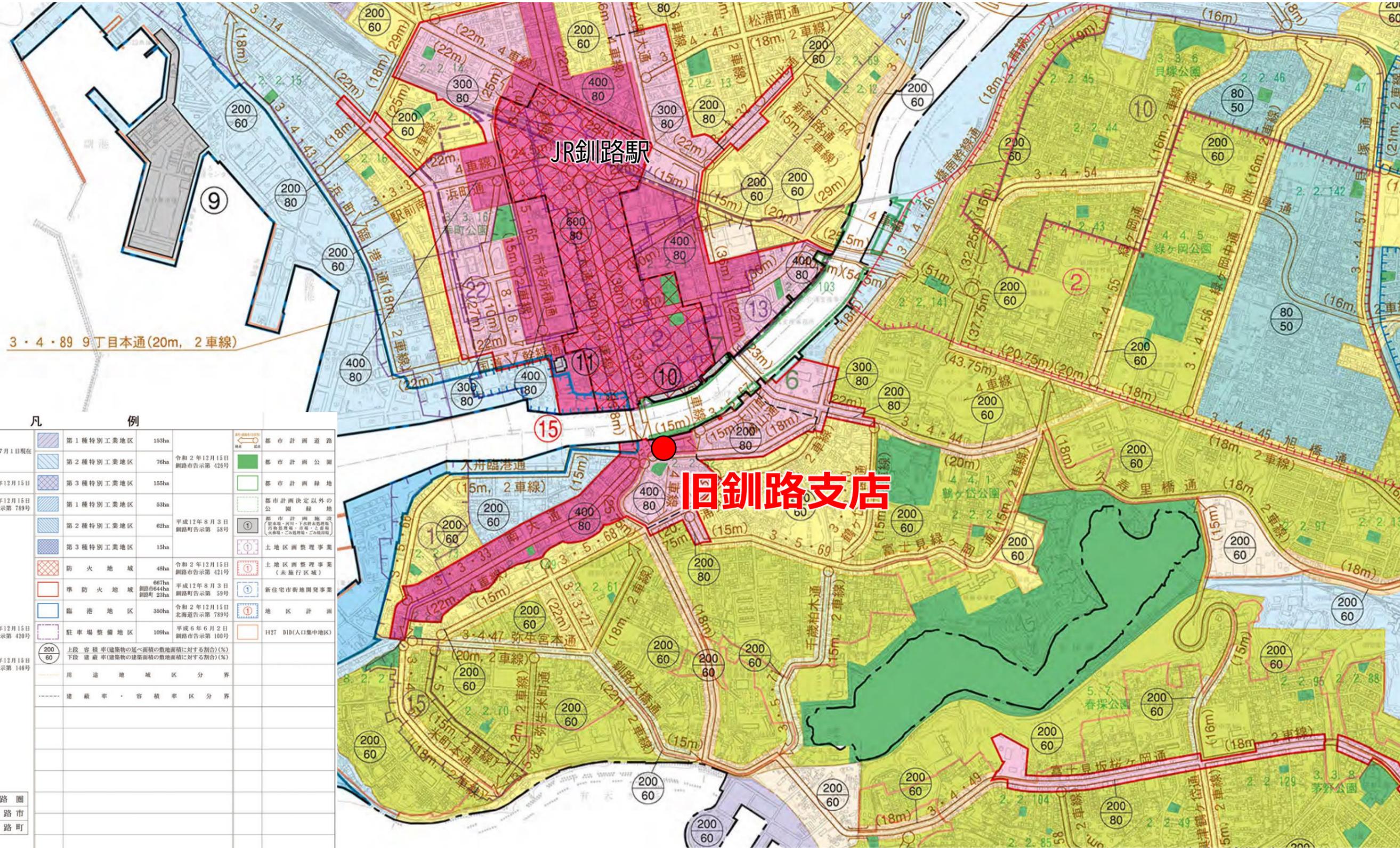
出典：GoogleMapストリートビュー

旧釧路支店

③活用方法を検討中

旧釧路支店は、商業地域として釧路市の中心市街地に位置している。

■周辺の土地利用図



凡		例	
行政区域	釧路市 136,329ha 釧路町 25,266ha	令和2年7月1日現在	
都市計画区域	34,221ha 22,187ha 12,034ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 426号
市街化区域	5,897ha 5,279ha 618ha	令和2年12月15日	北海道告示第 789号
第1種低層住居専用地域	102ha 893ha 867ha 295ha 135ha 0ha	平成12年8月3日	釧路市告示第 58号
第2種低層住居専用地域	7ha 7ha 5ha 0ha 5ha		
第1種中高層住居専用地域	1,000ha 878ha 122ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 420号
第2種中高層住居専用地域	662ha 604ha 58ha 549ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 146号
第1種住居地域	494ha 83ha 83ha		
第2種住居地域	142ha 127ha 18ha		
準住居地域	202ha 197ha 5ha		
近隣商業地域	126ha 108ha 18ha		
商業地域	377ha 362ha 15ha		
準工業地域	905ha 758ha 147ha		
工業地域	709ha 692ha 17ha		
工業専用地域	5,897ha 5,279ha 618ha		
合計			

第1種特別工業地区	153ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 421号
第2種特別工業地区	76ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 426号
第3種特別工業地区	155ha		
第1種特別工業地区	83ha		
第2種特別工業地区	62ha		
第3種特別工業地区	13ha		
防火地域	48ha	令和2年12月15日	釧路市告示第 421号
準防火地域	667ha 644ha 23ha	平成12年8月3日	釧路市告示第 59号
臨港地区	380ha	令和2年12月15日	北海道告示第 789号
駐車場整備地区	109ha	平成6年6月2日	釧路市告示第 100号
用途地域区分界			
建蔽率・容積率区分界			

都市計画道路	
都市計画公園	
都市計画緑地	
都市計画決定以外の公園緑地	
① 都市計画施設 (日本橋・河川・下流段水理施設 防砂堤防等・遊歩・土留置 大橋等・公共施設等・公共施設等)	
② 土地区画整理事業	
③ 土地区画整理事業 (未施行区域)	
④ 新住宅市街地開発事業	
⑤ 地区計画	
H27 DIB(人口集中地区)	

出典：釧路市HP